



『令和4年の夏は、君が主人公！』1学期の成果と課題に正対した全力の日々 ～地域で玖島の風を！夢や目標に努力と挑戦の夏！～

昨日は、大雨のための休校でした。子供たちの家庭での一日の過ごし方はいかがでしたでしょうか？明日から36日間の夏休みが始まります。1年生は7回目、2年生は8回目、3年生は9回目の夏休みです。学年こそ違いますが、それぞれが夏休みのプロとして、棒に振るようなことがあってはなりません。一人一人の充実した夏の過ごし方に期待を込めて、1学期を振り返りながら終業式で次のような話をしました。ご家庭でも話題としてお話しください。



この4月、始業式で、2、3年生に「あいさつ」「校歌」「笑顔」のあふれる学校をつくろう！と呼びかけました。次の日の入学式では「稚心を去れ」という話をしました。意識して取り組めたいでしょうか？

「あいさつ」は確実に良くなってきていると実感しています。先生方や保護者からも聞こえてきます。振り返ると4月からしばらくは、あいさつをこちらからしても返ってこない場面、返す言葉に力がない場面、自らあいさつをする生徒、返すあいさつにさわやかさがある生徒、おなかの底から声を出して元気なあいさつをする生徒、前を歩く私に後ろから心を込めてあいさつする生徒など、確実に増えています。先日の生徒総会でも「重点努力目標」の一つとして「あいさつの活性化」が掲げられ、達成する責任と自覚を皆さんにも促しました。夏休みになります。地域でも「玖島の風」を吹かせてください。今日から地域での「さわやかで元気なあいさつ」の実践をお願いします。

このコロナ禍で、「校歌」をお腹の底から思いっきり大きな声で歌うことが許されない日々が続いています。このような中、音楽の授業の中で、合唱コンクールに向けて各学級の「自由曲」も決定されました。歌声を合わせる、心を合わせる、姿勢を合わせる、呼吸を合わせる、思いを合わせることを醍醐味とする合唱。2学期以降、「校歌」のあふれる学校をつくりましょう。



このように皆さんの頑張りを確認できることがある反面、「消防へのいたずら電話」や「小学校への落書き」、「いじめ」等、あってはならない出来事が発生しました。また、「頭髪などの身なり違反」、「スマホ」や「お菓子」など不要物の持ち込みもありました。どの問題もその都度反省し、改善されました。

玖島中学校の生徒は、間違いや失敗をしっかり反省して素直に改めることができます。しかし、中学生に求められる力は、そうではありません。「して良いことか？悪いことか？」を自分で判断して、過ちを犯さない力、踏み止まる力です。入学式の式辞で話した「稚心を去れ」。自分の「幼稚な心」、「弱い心」、「醜い心」に負けていることに気づいている人は、直ちに改めなさい。このことは、残念ながら人の力ではできません。あなたの自身の力でしかできないのです。友達から相手にされなくなる前に、早く自分を変えてください。ルールを守ること、してはならないことに、緩みがあり、自分の中にある弱い心、醜い心に負けているあなたが心配です。

さて、3年生の皆さん。中学校生活最後の夏、そして勝負の夏、中総体をはじめ力を発揮する場が残っている人は、まずは部活動で力を出し切ってください。そして、自分の進路にしっかりと目を向けてほしい。「オープンスクール」や「三者面談」を通して、現時点での希望進路先を頭に描き、その実現に向けた思いを行動に結びつけてください。「目標なくして努力なし」。この言葉を3年生には贈ります。

2年生の皆さん。「来たるべき時に備える。」ことをこれまで求めてきました。一人ではできない。集団の力を高めたいのです。1月には、3年生からバトン、襷を引き継ぎます。大丈夫ですか？一人一人に「リーダーとしての自覚」がありますか。多くの部活動で先輩が引退するこの夏に、学校を担う覚悟と力を高めてください。

1年生の皆さんに求めたいことは「たくましさ」です。目標に挑戦し、心と体を鍛えてほしいのです。宿題等の学習にしっかり向き合ってください。部活動に入部している生徒は、この夏の練習を乗り越えてください。途中で諦めたり、甘い考えに負けたりしないでください。夏休みが明ければ、時は矢のように過ぎ、すぐに先輩となります。あつという間です。尊敬される先輩になれるよう、弱い自分の心に負けない夏としてください。

「三日会わざれば刮目して見よ。」という言葉があります。これは、「夢や目標に向かって努力と挑戦を続けている人は、三日もたてば見違えるように成長しているものだ。いつもと同じようにその人と接するのではなく、刮目して、つまり、目を見開いて、その人の成長ぶりをしっかりと見極めなさい。」という意味です。「三日会わざれば刮目して見よ」。夏休みは、36日間もあります。私も皆さんの成長ぶりを、刮目して見届けたいと思います。

暑さや怠け心に流され、飲み込まれてしまっはなりません。令和4年の夏の主人公はあなたです。「夏越しまつり」、「花火大会」、「外泊」、「LINEでの結びつき」など、多くの誘惑があります。心を強く持ち、前へ前へと進むのか。それとも1学期の努力を無駄にして、また「後ろ向きの自分」に逆戻りしてしまうのか、大きな分かれ道です。

命と健康を大切に、8月26日の始業式に、全員元気で集まろう。1学期の成果と課題に正対し、全力の夏です。玖島中生徒一人一人の健闘を祈り、1学期終業式にあたっての言葉とします。

玖島の誉れ

7月6日に、学校に嬉しい電話が何本も入りました。それは、5人の玖島中の生徒が、人命救助をしたという内容の電話でした。放課後下校中に、エレナ前バス停付近で倒れている女性から助けを求められ、機転を働かせ「エレナの従業員を呼ぶ役目」と「国立長崎医療センターに救急車を呼ぶ役目」に別れて行動し、見事命を救ったという善行、善い行いです。3-1の大平君、川尻君、中村君、3-2の浅倉君、3-4の松尾君、5人の中学生の輝く行動です。その温かくも細やかで、しっかりとした行動を目にした医療センターの患者さん、エレナの従業員さん、地域の方々からたくさんの賞賛の言葉をいただきました。「玖島の誉れ」です。「玖島の風」がさわやかにきらめきながら吹いていることを、保護者や地域の皆様方と共に喜びたいと思います。